

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | 専門学校 第一自動車大学校 |
| 設置者名 | 学校法人 都築学園 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|--------|------------------------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 工業専門課程 | 自動車整備学科 一級自動車整備士コース | 夜・通信 | 4065 時間 | 320 時間 | |
| | 自動車整備学科 二級自動車整備士コース | 夜・通信 | 1933 時間 | 160 時間 | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|---|
| http://www.damc.ac.jp/school/subjects.html?pid=27560 |
|---|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | 専門学校 第一自動車大学校 |
| 設置者名 | 学校法人 都築学園 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.damc.ac.jp/>

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任 期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|----------|-------------------|-------------------------|---------------------|
| 非常勤 | 都築学園以外の大学の 元学長 | H31. 1. 5～ R3. 1. 4 | 法人の運営体制の チェック機能 |
| 非常勤 | 株式会社取締役 | R1. 10. 1～ R3. 9. 30 | 法人の運営体制の チェック機能 |
| (備考) | | | |

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | 専門学校 第一自動車大学校 |
| 設置者名 | 学校法人 都築学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|--|---|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1 作成過程</p> <p>① 前年度 12 月に、授業科目、授業内容、授業の方法、配当時間、教育時期、成績評価の方法等について検討し、次年度のカリキュラムの案及び科目担当教員を決定する。</p> <p>② カリキュラムの案を基に、2 月までに科目担当教員が、到達目標、授業内容、成績評価の方法を具体化しシラバスの案を作成する。</p> <p>③ 3 月に、カリキュラム及びシラバスの案を審議し完成させる。</p> <p>2 授業計画 (シラバス) の公表 4 月にホームページに掲載し公表する。</p> <p>3 学生への説明 毎年、学生便覧 (学則、履修の要領、試験、進級・卒業の要件、就職、取得できる資格・免許等を含む) を学生に配布し説明している。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | http://www.damc.ac.jp/school/syllabus.html?pid=27559 |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |
| <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>1 科目の評価方法は、単元テストの結果を基に、授業態度 (レポート等の作成を含む) を勘案し、評価している。</p> <p>2 授業科目ごとに、シラバスに記述している評価方法により、各担当教員が科目の評価を実施し、学則第 11 条 2 項に示す評価方法により、100 点法及び 4 段階法により評価する。</p> | |

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|--------|--------|-------|-------|-----|-------|---|---|---|---|
| <p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> | | | | | | | | | | | |
| <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>①学則第 11 条 2 項 教科の評点は 100 点法を用いるが、公式の場合は、4 段階法による。換算基準は次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="432 472 1238 611"> <tr> <td>100 点法</td> <td>100～80</td> <td>79～70</td> <td>69～60</td> <td>59～</td> </tr> <tr> <td>4 段階法</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>② 1 年次及び 2 年次の教科の評価は C 段階以上をもって当該科目の履修を認定する。ただし、3 年次及び 4 年次の教科の評価は B 段階以上をもって当該科目の履修を認定する。</p> <p>③100 点法による評価の平均値をもって G P A とする。</p> | | 100 点法 | 100～80 | 79～70 | 69～60 | 59～ | 4 段階法 | A | B | C | D |
| 100 点法 | 100～80 | 79～70 | 69～60 | 59～ | | | | | | | |
| 4 段階法 | A | B | C | D | | | | | | | |
| 客観的な指標の算出方法の公表方法 | http://www.damc.ac.jp/images/material/72/files/seiseki2019.pdf | | | | | | | | | | |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> | | | | | | | | | | | |
| <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>① 自動車整備学科 2 級自動車整備士コースは自動車整備士養成施設の指定等の基準について (依命通達) (平成 8.9.4 自整第 157 号) にもとづく学科 600 時間、実習 1200 時間以上を履修した者及び履修すべき科目全てにおいて第 11 条第 3 項を満たしている者に対して、関係教職員による総合評価会議の意見を聞いて学校長が認定する。</p> <p>② 自動車整備学科 1 級自動車整備士コースは、2 年修了時において、第 13 条第 2 項を満たし、4 年修了時においては、2 級ガソリン自動車整備士及び 2 級ジーゼル自動車整備士資格を取得して、学科 280 時間以上、実習 1215 時間以上 (体験実習 200 時間含む) を含む合計 1800 時間以上を履修した者及び履修すべき科目全てにおいて第 11 条第 3 項を満たしている者に対して、関係教職員による 総合評価会議の意見を聞いて学校長が認定する。</p> <p>※第 11 条第 3 項：教科の評価は C 段階以上をもって当該科目の履修を認定する。ただし、3 年次及び 4 年次の教科の評価は B 段階以上をもって当該科目の履修を認定する。</p> <p>※第 13 条第 2 項：自動車整備学科二級自動車整備士コースは自動車整備士養成施設の指定等の基準について (依命通達) (平成 8.9.4 自整第 157 号) にもとづく学科 600 時間、実習 1200 時間以上を履修した者及び履修すべき科目全てにおいて第 11 条第 3 項を満たしている者に対して、関係教職員による総合評価会議の意見を聞いて学校長が認定する。</p> | | | | | | | | | | | |
| 卒業の認定に関する方針の公表方法 | http://www.damc.ac.jp/ | | | | | | | | | | |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|---------------|
| 学校名 | 専門学校 第一自動車大学校 |
| 設置者名 | 学校法人 都築学園 |

1. 財務諸表等

| | |
|--------------|------------------------|
| 財務諸表等 | 公表方法 |
| 貸借対照表 | http://www.damc.ac.jp/ |
| 収支計算書又は損益計算書 | |
| 財産目録 | |
| 事業報告書 | |
| 監事による監査報告（書） | |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報（自動車整備学科一級自動車整備士コース）

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|------------------------|-------------|---------------------|-------------|-------------|
| 工業関係分野 | | 工業専門課程 | 自動車整備学科 一級自動車整備士コース | | ○ | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 4年 | 昼間 | 3600 単位時間／単位 | 1622 単位時間/ 単位 | 単位時間/ 単位 | 2757 単位時 間/単位 | 単位時 間/単位 | 単位時間/ 単位 |
| | | | 4379 位時間／単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員 数 | 総教員数 | |
| 100人 | | 9人 | 0人 | 8人 | 10人 | 18人 | |

| |
|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要） ①前年度12月に、カリキュラム及び科目担当教員を検討し、修正を行う。 ②決定したカリキュラムを基に、2月までに科目担当教員がシラバスを作成する ③3月にシラバスを審議し、シラバスを完成させる ④4月にホーム・ページに掲載し、公表する。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） ①科目の評価方法は、単元テストの結果を基に、授業態度（レポート等の作成を含む）を勘案し、評価している。 ②授業科目ごとに、シラバスに記述している評価方法により、各担当教員が科目の評価を実施し、学則第11条2項に示す評価方法により、100点法及び4段階法により評価する。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） ①学則第11条2項 教科の評点は100点法を用いるが、公式の場合は、4段階法による。換算基準は次のとおりとする。 |

| | | | | | | |
|--|-------|--------|-------|-------|-----|--|
| | 100点法 | 100～80 | 79～70 | 69～60 | 59～ | |
| | 4段階法 | A | B | C | D | |

② 1年次及び2年次の教科の評価はC段階以上をもって当該科目の履修を認定する。ただし、3年次及び4年次の教科の評価はB段階以上をもって当該科目の履修を認定する。

③ 100点法による評価の平均値をもってGPAとする。

学修支援等

(概要)

① 各定期試験の後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。

② 成績不振者には、講義時間外に学習状況の把握や学習方法などのアドバイスをしている。また試験の平均点の低い科目については、計画的に補習を実施している。

| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | |
|-----------------------------|------------|-------------------|------------|
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 3人 (100%) | 0人 (0%) | 3人 (100%) | 0人 (0%) |

(主な就職、業界等)
自動車整備士として自動車業界に就職のみ

(就職指導内容)
礼節、挨拶運動を月1回行い、面接等の指導をしている

(主な学修成果(資格・検定等))
一級小型自動車整備士、二級ガソリン・ジーゼル自動車整備士、ガス溶接技能講習修了証、アーク溶接特別教育、有機溶剤作業主任者技能講習修了証、損害保険募集人合格証、危険物習得者資格(乙種第4類)、LPガス燃料装置取扱資格者認定証、中古自動車査定士、低圧電気取扱安全教育、巻上げ機特別教育、タイヤ空気充てん講習(一級3年次)

(備考) (任意記載事項)

| 中途退学の現状 | | |
|----------|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 12人 | 0人 | 0% |

(中途退学の主な理由)

(中退防止・中退者支援のための取組)
2年前からサイクル型のカリキュラムを変更し退学防止につなげている。担任制をひき、家庭訪問等きめ細やかな指導に心掛けている。

①学科等の情報（自動車整備学科二級自動車整備士コース）

| | | | | | | | |
|----------|----|---------------------------|------------------------|-------------|---------------------|-------------|-------------|
| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
| 工業関係分野 | | 工業専門課程 | 自動車整備学科 二級自動車整備士コース | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 2年 | 昼間 | 1800 単位時間／単位 | 804 単位時 間/単 位 | 単位時間/ 単位 | 1334 単位時間/ 単位 | 単位時間/ 単位 | 単位時間/ 単位 |
| | | | 2138 単位時間／単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 160人 | | 117人 | 78人 | 8人 | 10人 | 18人 | |

| | | | | | | | | | | |
|--|--------|--------|-------|-------|-----|------|---|---|---|---|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） | | | | | | | | | | |
| <p>（概要）</p> <p>①前年度12月に、カリキュラム及び科目担当教員を検討し、修正を行う。</p> <p>②決定したカリキュラムを基に、2月までに科目担当教員がシラバスを作成する</p> <p>③3月にシラバスを審議し、シラバスを完成させる</p> <p>④4月にホーム・ページに掲載し、公表する。</p> | | | | | | | | | | |
| 成績評価の基準・方法 | | | | | | | | | | |
| <p>（概要）</p> <p>①科目の評価方法は、単元テストの結果を基に、授業態度（レポート等の作成を含む）を勘案し、評価している。</p> <p>②授業科目ごとに、シラバスに記述している評価方法により、各担当教員が科目の評価を実施し、学則第11条2項に示す評価方法により、100点法及び4段階法により評価する。</p> | | | | | | | | | | |
| 卒業・進級の認定基準 | | | | | | | | | | |
| <p>（概要）</p> <p>①学則第11条2項 教科の評点は100点法を用いるが、公式の場合は、4段階法による。換算基準は次のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>100点法</td> <td>100～80</td> <td>79～70</td> <td>69～60</td> <td>59～</td> </tr> <tr> <td>4段階法</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>②1年次及び2年次の教科の評価はC段階以上をもって当該科目の履修を認定する。</p> | 100点法 | 100～80 | 79～70 | 69～60 | 59～ | 4段階法 | A | B | C | D |
| 100点法 | 100～80 | 79～70 | 69～60 | 59～ | | | | | | |
| 4段階法 | A | B | C | D | | | | | | |
| 学修支援等 | | | | | | | | | | |
| <p>（概要）</p> <p>①各定期試験の後には、必ず科目ごとの解答・解説を実施することにより、自分がどこを理解していないか等を認識させるように着意している。</p> <p>②成績不振者には、講義時間外に学習状況の把握や学習方法などのアドバイスをしている。また試験の平均点の低い科目については、計画的に補習を実施している。</p> | | | | | | | | | | |
| 卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） | | | | | | | | | | |

| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
|---|------------|-------------------|------------|
| 28人 (100%) | 0人 (0%) | 28人 (100%) | 0人 (0%) |
| (主な就職、業界等) 自動車整備士として自動車業界に就職 | | | |
| (就職指導内容) 礼節、挨拶運動を月1回行い、面接等の指導をしている | | | |
| (主な学修成果(資格・検定等)) 二級ガソリン・ジーゼル自動車整備士、ガス溶接技能講習修了証、アーク溶接特別教育、有機溶剤作業主任者技能講習修了証、損害保険募集人合格証、危険物習得者資格(乙種第4類)、LPガス燃料装置取扱資格者認定証、中古自動車査定士、低圧電気取扱安全教育、巻上げ機特別教育、タイヤ空気充てん講習(一級3年次) | | | |
| (備考)(任意記載事項) | | | |

| 中途退学の現状 | | |
|---|----------------|-----|
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 86人 | 6人 | 7% |
| (中途退学の主な理由) 怠学による出席日数超過による留年における退学又は経済的理由により就学困難による退学 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) 2年前からサイクル型のカリキュラムを変更し退学防止につなげている。担任制をひき、家庭訪問等きめ細やかな指導に心掛けている。 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|------------------------|----------|-------------|-----------|-------------|
| 自動車整備学科一級 自動車整備士コース | 50,000 円 | 490,000 円 | 460,000 円 | |
| 自動車整備学科二級 自動車整備士コース | 50,000 円 | 490,000 円 | 460,000 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.damc.ac.jp/ | | |
|---|----------------------|--------|
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 基本方針：自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価をおこない、自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、学校関係者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。 主な評価項目： (1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受け入れ募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守・内部質保証 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流 評価委員の構成 (委員の選出区分)：企業・保護者・卒業生等 実施方法：学校関係者評価委員会 (年 1 回 5 月基準、必要により臨時に開催) 評価結果で明らかにした改善策は、可能な限り速やかに業務に反映させるとともに、次年度の事業計画で具体化を図る。 体 制：委員 (4 名)、改善方策の責任者は学校長 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 区分 |
| 一般社団法人福岡県自動車整備振興会指導部部長 | R1. 11. 1～R3. 10. 30 | 業界団体役員 |
| 九州三菱自動車販売 (株) 上級執行役員グループサービス本部長 | R1. 11. 1～R3. 10. 30 | 業界役員 |
| 福岡市東光公民館館長 | R1. 11. 1～R3. 10. 30 | 地域住民 |
| 東栄自動車 有限会社 代表取締役社長 | R1. 11. 1～R3. 10. 30 | 卒業生 |

| |
|---|
| 学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校HP http://www.damc.ac.jp/ |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) |
| |

c) 当該学校に係る情報

| |
|---|
| (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校HP http://www.damc.ac.jp/ |
|---|